

平成30年留萌市教育委員会第1回定例会会議録

- 1 開 会 日 時 平成30年1月22日（月）午後1時から
- 2 開 催 場 所 留萌市役所 第3・4号会議室
- 3 出 席 者 教 育 長 早 川 隆
委 員 高 田 潔
委 員 西 川 知 恵
委 員 松 村 香 里
委 員 野 島 操
- 4 出席事務局職員 教 育 部 長 齊 藤 一 司
学 校 教 育 課 長 柏 原 俊 博
生 涯 学 習 課 長 小 林 慶 一
学 校 給 食 セ ン タ ー 長 平 井 健 治
子 育 て 支 援 課 長 石 塚 隆
幼 児 療 育 通 園 セ ン タ ー 長 松 下 高 広
学 校 教 育 専 門 指 導 員 山 本 浩
学 校 教 育 課 庶 務 係 長 真 鍋 磨
- 5 傍 聴 者 なし
- 6 教育長の報告の要旨 別紙のとおり
- 7 議 事 日 程 別紙のとおり
- 8 議題及び議事の概要 別紙のとおり

平成30年留萌市教育委員会第1回定例会 教育長業務報告

(自 平成29年12月19日 ～ 至 平成30年1月21日)

月・日	時 間	場 所	業 務 名
12月19日(火)	13:00	3・4号会議室	平成29年度第1階留萌市総合教育会議
	13:30	3・4号会議室	平成29年留萌市教育委員会第12回定例会
	16:30	自衛隊留萌駐屯地	平成29年度第2回二水会
12月20日(水)	16:00	留萌合同庁舎	平成29年度第3回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
	18:00	蛇の目	教育懇談会
12月21日(木)	11:00	市長室	山高建設工業(株) 地域貢献感謝状贈呈式
	13:30	東分庁舎1階会議室	北海学園大学開発研究所楠事務局長来庁
12月27日(金)		札幌市	北海道教育委員会等挨拶まわり (～28日) (北海道教育委員会、PMF事務局放送大学事務局)
12月29日(金)	15:30	3・4号会議室	年末仕事納め市長あいさつ
	17:30	1号会議室	ご苦労さん会
1月7日(日)	15:00	留萌市文化センター	平成29年留萌市成人式
1月9日(火)	9:30	3・4号会議室	年始仕事始め市長あいさつ
	18:00	留萌産業会館	平成30年新年交礼会
1月10日(水)	9:30		平成30年度人事異動仮内示(校長)
1月12日(金)	10:00	市長室	留萌ロータリークラブ 感謝状贈呈式
	10:15	市長室	通園センター親父の会 感謝状贈呈式
1月12日(金)	18:30	留萌産業会館	一般社団法人留萌青年会議所「新春の集い」
1月13日(土)	9:00	留萌市勤労者センター	第44回留萌市少年少女かるた大会
	12:00	自衛隊留萌駐屯地	平成30年留萌駐屯地新春交礼会
1月15日(月)	9:30		平成30年度人事異動仮内示(教頭)
	18:30	Cレストラン	留萌市文化会議「新年の集い」
1月16日(火)	13:00	2号会議室	留萌管内防災行政ネットワーク冬季合同防災訓練
1月18日(木)	9:45	留萌中央公民館	あかしあ大学 年頭の辞

平成30年留萌市教育委員会第1回定例会 議事日程

日 程	事 件 番 号	事 件 名	結 果
1	議案第1号	平成29年度教育費補正予算について	原案 可決
2	議案第2号	平成30年度教育費予算について	原案 可決
3	議案第3号	教職員の懲戒処分の内申について	原案 可決
4	協議第1号	中学校修学旅行における旅行範囲の緩和について	了
5	協議第2号	全国学力・学習状況調査における個人データの 小学校と中学校の連携について	了
6	協議第3号	平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の 祝辞者について	了

発言者	発言内容
早川教育長	<p>ただ今から、「平成30年留萌市教育委員会第1回定例会」を開催いたします。</p> <p>本日の議事署名委員は「松村委員」にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>はじめに、教育長の業務報告になりますが、お手元に配布しております資料に基づきまして、報告いたします。</p> <p style="text-align: center;">～ 業務報告 ～</p> <p>只今の報告に対しまして、質疑等はございませんか。</p> <p>それでは、議案審議に入ります。</p> <p>なお、今回の議事の中で、日程3については、「教職員の処分の内申」でございますので、会議規則第11条ただし書きに基づき、秘密会としたいと思ひますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">～ 異議なし ～</p> <p>それでは、秘密会として審議したいと思います。</p> <p>日程1、議案第1号「平成29年度教育費補正予算について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柏原学校教育課長	<p>日程1、議案第1号、平成29年度教育費補正予算につきまして、学校教育課分をご説明申し上げます。</p> <p>本補正予算は、学校教育課に係る一般会計歳出予算の補正であります。予算資料2ページ及び3ページの事業別の資料によりご説明いたします。2ページ、小学校費の学校管理費をご覧ください。小学校管理事業におきまして、燃料費の価格上昇に伴い予算不足が生じることから、需用費の燃料費を450万円増額し、補正後の額を6,493万1千円としようとするものであります。</p> <p>次に3ページ、中学校費の学校管理費をご覧ください。中学校管理事業におきまして、小学校管理事業と同様に燃料費に予算不足が生じることから、需用費の燃料費を410万円増額し、補正後の額を3,987万円としようとするものであります。</p> <p>以上、「平成29年度一般会計補正予算、学校教育課分」についてのご説明とさせていただきますので、よろしくご審議のほどお願ひ申し上げます。</p>
早川教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p> <p>発言がなければ、議案第1号は、このように決定させていただきます。</p> <p>続きまして、日程2、議案第2号「平成30年度教育費予</p>

	<p>算について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
齊藤教育部長	<p>日程 2、議案第 2 号、平成 30 年度 教育費予算について、ご説明申し上げます。</p> <p>A 3 版の資料をご覧ください。平成 30 年度の一般会計当初予算の一覧表でございます。この予算につきましては、毎年必要となります経常経費と年度当初から予算執行が必要な政策予算で構成された骨格予算でございます。2 月に市長選挙がございますので新市長の政策判断が必要な事業の予算は計上されておられません。</p> <p>歳出の教育費の欄をご覧ください。平成 29 年度と比較して 8 千 2 百万円、率にして約 11%ほどマイナスとなっております。主な増減理由は右の欄に記載のとおりでございますが、新市長が決まりましたら政策的な判断の上で、6 月には必要な政策予算が計上されることとなります。</p> <p>それでは、学校教育課関係分から順に説明をさせていただきます。柏原課長から順にお願いします。</p>
柏原学校教育課長	<p>学校教育課分につきまして、初めに、予算資料 5 ページから 11 ページの予算科目ごとの新規事業や予算配分などの見直しを行った事業を中心に歳出からご説明いたします。</p> <p>5 ページの教育委員会費をご覧ください。教育委員会運営事業につきましては、会議開催地の変更に伴う費用弁償の減額及び教育委員の給食試食に伴う食糧費の新設により、前年比 5 万 9 千円の減額となる 2 3 5 万 7 千円を計上しております。</p> <p>6 ページ、事務局費をご覧ください。特別支援教育支援員配置事業につきましては、東光小学校に入学予定の、日常的に支援が必要な児童の介助支援を行うため、支援員 1 名の増員を行います。スクールバス運行事業につきましては、平成 30 年 3 月末をもって閉校となる北光中学校の校区から、統合先となる港南中学校に通学する生徒に対しての通学支援を行います。嘱託職員配置事業につきましては、教職員の負担軽減等を目的に市内小学校 3 校、中学校 2 校に学校事務補助員の配置を行います。また、子育て支援体制を確立するため、子育て支援センター及び留守家庭児童会に嘱託職員各 1 名の配置を行います。教育委員会事務局統括事業につきましては、教職員が自主的に参加する研修に対する支援及び留萌市教育研究協議会に対し、教育課題等に関する研究調査を引き続き委託するとともに、小学校における英語の教科化を見据えた、新たな教育課題等に関する研究調査の委託を追加いたします。事務局費では、これらの事業を含め、前年比 1, 5 6 4 万 5 千円増額となる 1 億 4, 7 3 8 万 2 千円を計上し</p>

ております。

7ページ、学校管理費をご覧ください。小学校運営事業につきましては、地域の特色を活かし各学校の創意工夫による学校運営に取り組む「特色ある学校づくり」による校長裁量予算配分を継続して実施してまいります。平成30年度におきましては、留萌小学校における図書室フリースペースの整備及び北小学校における拡大印刷機の整備を進めるものがあります。また、老朽化した複写機・印刷機などをリースの形態により更新することにより、作業効率を向上させ、教職員の負担軽減を図ってまいります。平成29年度の教育用ICT機器更新事業の一環として導入した、北海道共同利用型校務支援システムのグループウェア機能の利用料及び港北小学校において取り組んでいる校務支援機能の利用料につきまして、新規経常経費として小学校運営事業に予算計上しております。小学校管理事業につきましては、「特色ある学校づくり」として留萌小学校に雲梯を整備し、体力向上のための環境整備を進めるものであります。学校管理費では、これらの事業を含めた経常経費を中心とした予算編成として、前年比3,618万4千円減額の7,578万4千円を計上しております。減額の要因としましては、平成29年度に予算計上しておりました小学校LAN環境改善事業の完了、教員住宅整備及び解体工事、旧学校施設解体事業、港北小屋内運動場改修事業、これらの予算計上分が減額となっております。

8ページ、教育振興費をご覧ください。小学校教育振興事業につきましては、平成30年度から市内全ての小中学校においてコミュニティ・スクールを導入することから、学校運営協議会委員報酬を新設するほか、「特色ある学校づくり」として、各学校において研修会等への参加、道徳性検査の実施、外部講師を活用した授業の実施、小中一貫教育推進事業、複式学級用ICTコンテンツ整備などを行います。また、ICTを積極的、効果的に活用した授業改善や情報化社会に主体的に対応していく教育を推進するため、デジタル教材を有効に活用してまいります。さらに、学校図書館の標準冊数に満たない3校に対し、図書購入費の増額を行うことにより図書の充実を図ってまいります。教師用指導書整備及び社会科副読本改訂事業につきましては、道徳の教科化に伴い教師用指導書を整備するとともに、ゼロ予算事業として社会科副読本の改訂に向け検討を進めてまいります。教育扶助事業につきましては、平成30年度の新1年生から実施をしている入学準備金の入学前支給を継続してまいります。教育振興費では、これらの事業を含めて、前年比2,643万9千円増額の7,387万6千円を計上しております。

9 ページ、学校管理費をご覧ください。中学校運営事業につきましては、平成29年度の教育用ICT機器更新事業の一環として導入した、北海道共同利用型校務支援システムの利用料につきまして、新規経常経費として中学校運営事業に予算計上しております。また、老朽化した複写機・印刷機などをリースの形態により更新することにより、作業効率を向上させ、教職員の負担軽減を図ってまいります。中学校管理事業につきましては、平成30年3月末をもって閉校する北光中学校の施設等の管理に関して、利活用の方向性が定まるまでの当面の期間、一定の機能を保持するための管理を行います。学校管理費では、これらの事業を含めて、前年比743万8千円減額の4,276万2千円を計上しております。減額の要因としては、平成29年度に予算計上しておりました中学校LAN環境改善事業が完了したことによるものであります。

10 ページ、教育振興費をご覧ください。中学校教育振興事業につきましては、コミュニティ・スクール導入に係る学校運営協議会委員報酬を新設するほか、「特色ある学校づくり」として、研修会等への参加、生徒会が中心となって取り組む活動、道徳性検査の実施などを行ってまいります。また、ICTを積極的、効果的に活用した授業改善や情報化社会に主体的に対応していく教育を推進するため、デジタル教材を有効に活用してまいります。教育扶助事業につきましては、平成30年度の新1年生から実施をしている入学準備金の入学前支給を継続してまいります。教育振興費では、これらの事業を含めて、前年比559万9千円増額の4,422万円を計上しております。

11 ページ、学校保健費をご覧ください。学校保健事業につきましては、北光中学校の閉校に伴い学校医報酬などが減額となっております。日本スポーツ振興センター保護者負担金給付金につきましては、児童生徒の制度加入率100%を維持することを目的に、引き続き同共済掛金の保護者負担金額相当額を給付してまいります。学校保健費では、これらの事業を含めて、前年比42万円減額の1,147万3千円を計上しております。

次に、資料1 ページ、歳入につきましてご説明いたします。

保健体育費負担金につきましては、日本スポーツ振興センター保護者負担金が児童生徒数の減少に伴い、4千円減の50万1千円を計上しております。

使用料及び手数料の教育使用料につきましては、学校体育館の市民夜間利用に伴う料金となっており、利用団体や利用頻度を見込み、8万4千円増の60万4千円を計上しております。

	<p>国庫支出金の教育費補助金、第1節、教育総務費補助金では、へき地児童生徒通学援助補助金にかかる経費に対する補助金として11万5千円を計上しております。第2節、小学校費補助金では、要保護生徒就学援助費補助金にかかる経費に対する補助金として5万円、特別支援教育就学奨励費補助金にかかる経費に対する補助金として67万8千円、合計で72万8千円を計上しております。第3節、中学校費補助金では、要保護生徒就学援助費補助金にかかる経費に対する補助金として11万円、特別支援教育就学奨励費補助金にかかる経費に対する補助金として28万3千円、合計で39万3千円を計上しております。第4節、保健体育費補助金では、児童生徒心電図検診に係る経費に対するへき地児童生徒学校保健事業費補助金24万6千円を計上しております。</p> <p>道支出金につきましては、小学校費補助金として、スクールガードリーダー配置事業にかかる経費に対する補助金として、前年度と同額の11万5千円を計上しております。また、小学校費委託金では、スクールソーシャルワーカー活用調査研究事業にかかる経費に対する委託金として、前年度と同額の30万9千円を計上しているほか、新たに、港北小学校において取り組んでいる校務支援機能の調査研究にかかる経費に対する委託金として、41万4千円を計上しており、合わせて72万3千円の計上となっております。</p> <p>財産収入の建物貸付収入につきましては、教員住宅の教職員入居状況を勘案し、70万6千円減の651万9千円を計上しており、基金運用収入につきましては、奨学基金運用収入として2千円を計上しております。</p> <p>以上、「平成30年度教育費予算、学校教育課分」についてのご説明とさせていただきます。</p>
小林生涯学習課長	<p>日程2、議案第2号、平成30年度教育費予算、生涯学習課分について、ご説明させていただきます。生涯学習課分につきましても、初めに、予算資料5ページから11ページの予算科目ごとの新規事業や予算配分などの見直しを行った事業を中心に歳出からご説明いたします。</p> <p>5ページの社会教育総務費をご覧ください。芸術文化助成金につきましては、市民団体が自主的に開催する芸術文化事業や文化財保護事業に対する助成を継続してまいります。北海道150年記念子どもたちの芸術鑑賞事業につきましては、本道が「北海道」と命名されてから150年目となる2018年を節目と捉え、積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返り、感謝し、道民・団体等と一体になって節目の年として祝うとともに、未来を展望しながら互いを認め合う共生の社会を目指し、先人から受け継いだ財産を次の世代に引き</p>

継ぐため、市内小中学生などを対象に9月25日を仮日程とした鑑賞事業に係る経費につきまして、新規計上しております。社会教育総務費では、これらの事業を含めた経常経費を中心とした予算編成として、前年比119万6千円減額の776万1千円を計上しております。

6ページ、中央公民館等費をご覧ください。中央公民館等管理事業につきましては、平成30年度より新たに3年間、NPO法人留萌体育協会に管理運営を委託していく中で、今後とも適切な施設の維持管理に努めてまいります。中央公民館等整備事業につきましては、留萌市社会教育施設維持管理計画に基づき、計画的な施設整備を進めることにより、利用者の満足度向上と施設の利用促進を図り、安心安全な施設環境を整備するため文化センター舞台吊物装置改修工事を行います。中央公民館等費では、これらの事業を含めて、前年比594万3千円増額となる8,913万7千円を計上しております。

7ページ、図書館費をご覧ください。図書館運営管理事業につきましても、中央公民館等管理事業同様、平成30年度より留萌体育協会に管理運営を委託していく中で、今後とも適切な施設の維持管理に努めてまいります。図書館費につきましては、これら経常経費を中心とした予算編成として、前年比226万6千円減額の3,233万1千円を計上しております。

8ページ、佐賀番屋調査費をご覧ください。佐賀漁場管理事業につきましては、国指定史跡であります旧留萌佐賀家漁場及び重要有形民俗文化財のニシン漁撈用具について、今後とも適切な維持管理に努めてまいります。佐賀番屋調査費としましては、前年比2万6千円減額の125万7千円を計上しております。

9ページ、体育振興費をご覧ください。スポーツ振興助成金につきましては、引き続き、スポーツ団体が自主的に開催するスポーツ振興事業及びスポーツ団体への活動助成を継続してまいります。体育振興費では、これら経常経費を中心とした予算編成として、前年比330万6千円減額の100万2千円を計上しております。

10ページ、体育施設費をご覧ください。温水プール管理事業につきましては、昨年度より実施しております、市民1,000人を対象としたアンケート調査や水泳教室についても4回の実施とするほか、引き続き、小学校のプール授業専用として一部開設を行う中で、夏季休業期間中の一般開放を実施していき、温水プールの効率的な管理運営を行ってまいります。クロスカントリーコース整備事業につきましても、引き続きグレンデスキーに代わる、ウィンタースポーツとし

て多くの市民にクロスカントリースキーにふれてもらう環境を提供し、競技人口の増加、競技者の技術の向上を図り、生涯スポーツ活動の推進を継続してまいります。体育施設費では、これら経常経費を中心とした予算編成として、前年比380万1千円減額の2,272万1千円を計上しております。

11ページ、文教施設災害復旧費をご覧ください。旧佐賀家漁場災害復旧事業につきましては、平成29年11月11日に発生した暴風の影響により、史跡内母屋の屋根半面が飛散し、トタ倉及び船倉の外壁の一部が破損。稲荷社においては、社殿及び鳥居が破損したため、今年度においては母屋等の2次被害の防止と降雪期を迎えるにあたり最低限の修繕を行ったところでございますが、復旧完了が困難であった母屋及び社殿、鳥居の復旧工事を行うことにより、文化財の適切な保全・管理を行ってまいります。文教施設災害復旧費では、旧佐賀家漁場の災害復旧工事などに係る経費につきまして、1,579万6千円を新規計上しております。

次に、資料1ページ、歳入につきましてご説明いたします。使用料及び手数料、教育使用料につきましては、温水プール使用料の平成29年度実績に基づき、4万2千円を増の35万8千円を計上しております。行政財産使用料につきましては、図書館及び中央公民館等の評価額の変動に伴い、4万9千円減の、90万6千円を計上しております。

国庫支出金、文教施設災害復旧費補助金の歴史活き活き史跡等総合活用整備事業費補助金につきましては、旧佐賀家漁場災害復旧事業にかかる経費に対する補助金として、1,105万7千円を計上しております。

財産収入の土地貸付収入につきましては、旧市民スキー場土地使用料として、前年度と同額の3千円を計上しており、基金運用収入につきましては、芸術文化振興基金、スポーツ振興基金運用収入として各2千円増の計4千円を計上しております。

2ページをご覧ください。繰入金の基金繰入金、第2節、公共施設整備基金繰入金では、中央公民館等整備事業の文化センター舞台吊物装置改修工事にかかる経費に対する財源として、330万4千円増の2,154万5千円を計上しております。第3節、留萌市応援基金繰入金では、北海道150年記念子どもたちの芸術鑑賞事業にかかる経費に対する財源として、521万6千円増の575万6千円を計上しております。第6節、芸術文化振興基金繰入金では、芸術文化振興助成金の財源として、51万1千円の減。また、第7節スポーツ振興基金繰入金では、スポーツ振興助成金の財源として、109万6千円減のそれぞれ100万円を計上してお

	<p>ります。</p> <p>第27節、備荒資金組合災害支消金では、旧佐賀家漁場災害復旧事業にかかる経費に対する財源として、53万9千円を計上しております。</p> <p>市債の文教施設災害復旧債につきましても、旧佐賀家漁場災害復旧事業にかかる経費に対する財源として、420万円を計上しております。</p> <p>以上、「平成30年度教育費予算、生涯学習課分」についての説明とさせていただきます。</p>
<p>平井学校給食センター長</p>	<p>続いて、学校給食センター関係分について説明させていただきます。</p> <p>歳出からご説明いたします。資料の2ページをご覧ください。学校給食費は、本年度予算額8,844万5千円、平成29年度当初予算と比較しますと450万9千円の増となっております。その内訳でございますが、学校給食統括事業といたしまして、給食センター運営委員会委員報酬、事務用消耗品費、調理従事者の健康診断委託料などで150万8千円を計上しており、平成29年度と比較し45万3千円の増でございます。増となりましたのは、厚生労働省の大量調理施設衛生管理マニュアル等の改正により、ノロウイルス対策として、10月から3月までの6か月間、調理従事者のノロウイルス検査を実施することが必要となったため、検査委託料が増となったものでございます。次に、給食センター運営管理事業として、調理員の賃金、施設の燃料費、電気料金などの光熱水費、給食配送委託料などに5,747万7千円を計上し、平成29年度と比較し281万5千円の増となっております。増加となりましたのは、重油の単価上昇と、電気料、給食配送委託料の増、及び臨時賃金の単価アップなどが主なものでございます。次に、給食センターに配属されています、軽自動車の公用車のガソリン代などの経費として16万8千円を計上しています。最後に給食センター調理衛生環境等改善事業としては、2,929万2千円を計上しています。これは留萌市学校給食センター調理衛生環境改善及び調理機器更新計画に基づいて更新するものでありまして、平成30年度は、蒸気・温水ボイラー更新工事として2,329万2千円、調理室の空調機器設置に備品購入費と電気工事合わせて600万円を計上しているところです。</p> <p>続いて歳入ですが、1ページにお戻りください。給食センター調理衛生環境等改善事業債として2,320万円を計上してございます。</p> <p>以上、「平成30年度教育費予算、給食センター分」についてのご説明とさせていただきます。</p>

早川教育長	<p>質疑に入ります。 只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p>
高田委員	<p>学校教育関係のところの3ページの歳出で、教育費、教育総務費、事務局費のところでは嘱託職員配置事業、臨時職員配置事業について、先程6ページである程度説明は聞きましたけども、2点について関わる部署が相当数あるということでしょうか。</p>
柏原学校教育課長	<p>嘱託職員配置事業につきましては、基本ベースとして、嘱託職員26人分を計上してございます。内訳としては、学校教育課事務局に2名、学校事務補助員5名、生涯学習課1名、給食センター3名、子育て支援課10名、通園センター5名の26名となっております。この他に個別の事業でスクールバスの運転手ですとかALTも嘱託職員として採用しておりますので、教育委員会自体としては全体で31名ということでおさえております。</p> <p>また、臨時職員につきましては、本事業で予算計上している部分につきましては、学校教育課で用務員10名、子育て支援課で児童厚生員等で6名の16名分を基本ベースとして予算計上しておりますが、こちらもそれぞれの事務事業で個別に臨時賃金の予算を組みまして、予算計上しておりますので教育委員会全体としては、60名ほどになるということで見込んでいるところでございます。</p>
早川教育長	<p>その他発言がなければ、議案第2号は、このように決定させていただきます。</p> <p>続きまして、日程3、議案第3号「教職員の懲戒処分の内申について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柏原学校教育課長	<p>～ 日程3は秘密会 ～</p>
早川教育長	<p>続きまして、日程4、協議第1号「中学校修学旅行における旅行範囲の緩和について」を議題といたします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柏原学校教育課長	<p>日程4、協議第1号、中学校修学旅行における旅行範囲の緩和につきまして、ご説明いたします。</p> <p>修学旅行の実施にあたっては、平成10年に決定した「留萌市立小中学校修学旅行実施基準」などに基づき、中学校では旅行日数は3泊4日以内、旅行範囲は1,200km程度、利用交通機関には航空機が想定されておらず、関東地方での実施は制限されている状況にあります。</p> <p>今般、港南中学校より関東地方での修学旅行実施の検討について相談を受け、事務局において道内各市の状況を調査したところ、28市中21市が関東地方以南も対象としており、その21市のうち7市が「道外の場合は旅行日数を2泊</p>

	<p>3日以内」としている状況にあります。</p> <p>事務局といたしましては、現在の公共交通機関の状況を勘案し、実施基準などを改正し、関東地方での修学旅行実施も可能とする方向で校長会などと協議を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>実施基準などの改正案の概要といたしましては、中学校の見学旅行に関し、新たに航空機利用を加えるとともに、旅行の範囲は現行の距離基準を改正しないが航空機を利用する場合は距離基準によらないこととし、更に旅行日数を1日短縮して生徒の疲労や保護者の経済的負担等に配慮して、各学校において適切に設定することとしております。なお、お手元の議案には実施基準及び留意事項の改正部分につきまして、アンダーライン及び取り消し線にて表示しております。</p> <p>以上、協議第1号の説明とさせていただきますので、ご協議のほどよろしくお願いいたします。</p>
早川教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p> <p>発言がなければ、協議第1号については、このように進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>続きまして、日程5、協議第2号「全国学力・学習状況調査における個人データの小学校と中学校の連携について」を議題とします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柏原学校教育課長	<p>日程5、協議第2号、全国学力・学習状況調査における個人データの小学校と中学校の連携につきまして、ご説明いたします。</p> <p>本案件につきましては、平成29年1月20日に開催した教育委員会定例会において、留萌市として個人データの小学校と中学校の連携を実施することとしており、その内容は、平成29年度以降に小学校6年生で全国学力・学習状況調査に参加した児童の個人データを、中学校3年生で参加する調査のデータを突合・分析することで、経年変化の把握や、よりきめ細かな指導等に取り組むことができるものであり、実際には平成29年度の小学6年生が中学3年生になる平成32年度から始まるものであります。しかしながら、平成30年度の全国学力・学習状況調査実施要領にはこの連携に関する部分の記載が無くなったため、道教委が文科省に確認を行っております。その確認された内容の一つ目が、平成29年度の小学校6年生だけが対象となる、実質は単年度のみでの取り組みとなること。二つ目は、学力・学習状況調査の内容自体を文科省が見直しの検討を進めており、データの分析内容も項目が少なくなることが予測されること。三つ目が、</p>

	<p>個人データの中学校への送付に関しては、保護者の同意が必要であるという見解が明確に示されたことであります。</p> <p>以上のことから、一つの特定の学年だけが連携の対象となることの説明が困難であり、単年だけの実施となった場合や調査項目等が変わる中での効果に疑念が残り、さらに、保護者の同意が必要なことから相当な業務負担が予測され、保護者の同意を得ることも難しいものと考えられます。</p> <p>教育委員会といたしましては、過度の業務負担となり、その効果にも疑念があることから、「個人データの小学校と中学校の連携」は実施しない方向で校長会等と協議を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上、協議第2号の説明とさせていただきますので、ご協議のほどよろしくお願いいたします。</p>
早川教育長	<p>質疑に入ります。</p> <p>只今の説明に対しまして、ご意見等はございませんか。</p>
野島委員	<p>よく分からなかったのですが、平成29年度分も引き継がなくても問題はないっていうふうに文科省が判断しているということなんですね。</p>
柏原学校教育課長	<p>文科省で当初29年度以降、ずっと継続していく形で前回示されていたわけなんですけど、今回30年度以降はやらないということになり、はっきりとした経緯についてはお答えしていただけないんですが、道教委の方も毎年継続してやっていくということで、去年の段階では是非取り組んでくださいということでしたが、今回こういう状況になったんで、道教委としても無理にお勧めはできない内容になってしまったという説明を受けております。</p>
野島委員	<p>では29年度も30年度以降もやらないということですね。</p>
柏原学校教育課長	<p>30年度以降はそもそも実施の内容が文科省の方から削られたということで、あくまでもやっても29年度だけ、ただ効果が低いなというのが現状の判断となるということでご理解をお願いしたいと思います。</p>
野島委員	<p>分かりました。全国的な流れということであれば。</p>
早川教育長	<p>その他発言がなければ、協議第2号については、このように進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>続きまして、日程6、協議第3号「平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の祝辞者について」を議題とします。</p> <p>事務局からの説明を求めます。</p>
柏原学校教育課長	<p>日程6、協議第3号 平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の祝辞者につきまして、ご説明申し上げます。</p> <p>市内の小中学校の卒業式、入学式の祝辞者につきましては、例年委員さんが分担して祝辞者としてご出席していただ</p>

	<p>いております。</p> <p>平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の祝辞者につきまして、別紙案のとおり作成いたしましたので、委員各位の日程等で不都合などがないか、ご確認のほどお願いいたします。</p> <p>以上、協議第3号の説明とさせていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p>
早川教育長	まず、ご都合の確認をしていただければと思います。
高田委員	私はこれで対応できます。
早川教育長	はい。西川委員は。
西川委員	大丈夫です。
早川教育長	野島委員。
野島委員	大丈夫です。
早川教育長	松村委員。
松村委員	大丈夫です。
早川教育長	<p>それでは、このように決定させていただきます。</p> <p>続きまして、各課からの報告事項に入ります。</p> <p style="text-align: center;">～ 各課からの報告 ～</p> <p>以上をもちまして、平成30年留萌市教育委員会第1回定例会を閉会いたします。</p>

終了 午後2時40分

教育長

署名委員